

<学校教育目標>

「共に生き、自ら学び 創造する子ども」



<めざす子ども像>

「確かな学力(体力・気力・学力)と豊かな心を身につけた子ども」

- 友だちと関わり合い学び合う子
- 命を大切にする思いやりのある子
- 楽しく遊び、楽しく学ぶ子
- ㊦とめる子
- ㊦さしい子
- ㊦んばる子
- いつも ㊦らっている子



<めざす学校像>

「笑顔あふれる学校」

- ～関わり合い、学び合い、一人一人の居場所がある学校～
- 信頼される開かれた学校 (説明責任の遂行)
 - 学力向上に責任を持つ学校 (基礎基本と活用能力の習得)
 - 子どもが安心して生活できる学校 (危機管理の徹底)
 - 学習環境の整った学校 (学校美化)
 - 家庭・地域と連携を密にする学校 (地域の教育力活用)



<指導の重点>

- (1) 言語活動を重視し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用する学力の向上に努める。
- (2) 子どもの興味・関心・学習意欲を高める電子黒板の活用及びタブレットP C等 ICTを活用した授業の工夫を図る。
(兵庫県教育委員会 ICT活用による教育の質の向上支援事業推進校指定)
(芦屋市教育委員会平成30年度I C T活用教育実践研究事業指定)
- (3) 読書活動の充実を図るとともに、図書を活用した授業を推進する。
- (4) いのちと人権を大切にする心の教育の充実を図る。(平和教育・防災教育の推進)
- (5) 共感的な子どもの内面理解に立ったぬくもりのある生活指導を推進する。
- (6) 個別のニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。
- (7) 子どもの体力向上を図る。
- (8) 小中連携に係る取組みを推進する。